

保育方針	自立する子ども、自律する子どもを育てる。 豊かな人間性を持った子に育てる。	保育目標	・五感を育てられる ・生活に根ざし、生活を切り開いていく子ども ・いつも「なぜ」「どうして」と考えられる子ども ・基本的生活習慣の自立 ・豊かな創造性を持てる子ども ・一人ひとりを大切に、みんなが楽しく生き生きと生活する。
評価項目	評価内容	評価 ◎○△	評価理由
保育内容について	・保育課題・保育目標・保育計画等は、定期的に評価見直しをやっている。	◎	保育指針と照らし合わせ、園の目標も踏まえ職員全体で検討し、見直している。
	・保育目標は全職員で検討し、共通理解している。	◎	年間目標など、目標を職員で検討し理解している。
	・指導計画は、子どもの実態を踏まえた発達過程に応じた作成をしている。	◎	各クラスの子どもの様子で保育計画を立案している。
	・子どもへの支援・指導は、保育指針に基づき適切に行っている。	◎	年間計画に基づいて、一人ひとりの個人月案を作成して保育を行っている。
	・環境構成は、保育や子どもの発達過程を常に意識して構成している。	◎	保育計画の中で各クラスの子どもの成長に合わせて活動を計画している。
	・行事はねらいを明確にし、計画や実施に十分に生かしている。	◎	職員間で行事の計画を話し合い、ねらいに向けて実践している。
	・障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し障がいの特性や発達過程に即した支援をしている。 ・小学校との連携や就学を見通した計画や教育と保育について保護者に伝えている。	○ ◎	個人の計画を立てながら、特性を見極め支援している。 就学を見通した活動をし、保護者との懇談をしている。
健康・食育及び安全について	・子どもの健康管理は一人ひとりの健康状態に応じて対応している	◎	健康チェックシートや保護者からの申し送り、表情、食欲などに注意して対応した。
	・緊急時（事故、感染症の発生時）における子どもの安全確保のための体制を整備している。	◎	職員間で緊急対応マニュアルや感染症ガイドラインを参考に対応している。
	・子どもの安全確保のために防災に対する計画を立て定期的に訓練を実施している。	○	避難訓練計画を立て、月1回の訓練を行っている。
	・健康や安全な生活に必要な習慣が身につくための保育を実践し、家庭への情報提供を行っている。	◎	毎日、薄着、うがい、石けんでの手洗いを実践し、保健だよりを配布している。
	・楽しく食事が出来る配慮や支援及び環境構成を行っている。	◎	コロナ禍では、パネル、黙食を実践した。苦手な物は無理をせず、少しずつ食べられるように励ましている。
	・食物アレルギーの対応誤防止を実践している。	◎	医師の診断で除去食を提供している。誤食の内容に職員間で確認をしている。
子育て支援について	・保護者の子育て相談や意見には適切な対応と援助を行っている。	◎	保護者からの相談、要望については真摯に受け止め職員と話し合い対応をしている。
	・地域の関わりを大切にし、お日さま広場、育児相談、一時預かりなど積極的に取り組んでいる。	◎	コロナ禍でも支援センターを開き、来園して楽しい時間が過ごせるように取り組んだ。その中で相談にも応じる事が出来た。
職員向上に資するについて	・計画的に園内研修を行っている。	◎	月1回の園内研修を実施し、職員間で共通な理解が出来るようにしている。
	・諸研修の成果を保育に生かし、子どもたちの育ちに反映している。	○	様々な研修を受けることが出来た。現場ですぐ生かせる研修内容のものもあった。
	・自己評価・第三者評価を定期的に内部で実施し、保育の質の向上を行っている。	○	年3回の自己評価をしている。が記入のみになっている。
運営管理について	・保育所の課題について共通理解し、協働と自己研鑽をしている。	○	現在の園の状況から出ている課題を、職員と話し合い改善に向けて検討する。
	・職員会及び担当者会議を適切かつ効率的に進めている。	◎	司会、書記を決め、議題に沿って行っている。
	・守秘義務、法令の遵守をし、個人情報の取り扱い及び苦情解決など、適切に行っている。	◎	個人情報の取り扱いなど守秘義務を守り、苦情についてもその都度、解決に向け話し合いを行っている。
	・施設内外の設備・遊具などの安全点検を定期的に行っている。	◎	毎月1回各部屋や園庭などの点検を行っている。
評価			
○	・コロナウイルス感染症感染拡大により、保育の取り組み方、行事の取り組み方を、その都度相談して出来るだけ行えるように相談した。 ・子どもの人権について職員全体で学習をして、保育に生かせるようにした。これからも続けて学習をしていきたい。		
	クラス保育が中心になったが、クラスでの遊びを充実する事が出来た。		